



「パラアスリート スカラシップ制度」創設について

2017年3月8日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、行動指針として掲げる「地域密着」のさらなる実現に向け、2014年より全社を挙げた障がい者スポーツ支援を実施しています。今般、次代を担う障がい者アスリート育成のために、志が高く能力のある若手アスリートを応援する「パラアスリート スカラシップ制度」を創設しましたので、お知らせいたします。

本制度は、競技団体の協力を得て、パラアスリート強化の環境づくりの一助となることを期待して、当社が制度構築したものです。本スカラシップ制度の第1号認定者は、以下の2名です。

(※) 所属は2017年4月時点

氏名 年令(生年月日)	性別	競技名・主な戦績	所属(※)	出身地
鳥海 連志 (ちょうかい れんし) 18歳 (1999年2月2日生)	男	車椅子バスケットボール ・リオ2016パラリンピック日本代表 ・U23男子日本代表 ・アジアユースパラ2013日本代表	日本体育大学 (1年生)	長崎県
森下 友紀 (もりした ゆうき) 20歳 (1996年9月28日生)	女	水泳・競泳(身体障がい) ・リオ2016パラリンピック日本代表 ・2015ジャパンパラ水泳競技大会 100m/200m バタフライ 優勝 ・2017ワールドパラ世界選手権日本代表 内定	昭和女子大学 (3年生)	千葉県

なお、認定式は、3月14日(火)午後3時より、当社本社(東京都渋谷区恵比寿)にて執り行います。

<パラアスリート スカラシップの概要>

1. 制度導入の背景

世界のパラ競技の水準は急速に上昇しており、東京パラリンピックに向けて、レベルの高い次世代を担う若手選手の育成が喫緊の課題となっています。また、パラ競技は専用の器具や介助者などが必要であり、若手アスリートにとって経済的に大きな負担ともなっています。今回の制度創設により、若手パラアスリートを支援することを決定しました。

2. 制度概要

目的：アスリートの活動を経済面で支援するとともに、学業と競技の両立による人間形成を後押しします

種類：給付奨学金

期間：2017年4月から1年間(卒業まで継続可)

対象：高い意欲と礼節を備え、次世代のパラ選手になりうる素養をもった大学生

当社が協賛する競技団体・関連団体等から推薦を受けられる大学生

以上